



きらくなたより

発行者 鈴木 忠好

発行月 R2年6月

No. 37

半年過ぎました！

あっという間に1年の半分が過ぎてしまいました。

この6か月間、新コロナに追いまわされ、すべての活動が自粛、自粛。買い物から、旅行から、日常のあらゆる活動に自粛が強いられてきた半年でした。高齢者は残された時間が少ないのです。その貴重な時間が無駄に費やされたようで誠に腹立だしい思いです。新コロナも何もなければ、残された時間などあまり気にすることもなく、案外、漫然と過ごしているのかもしれないですね。人間とは不思議なもので、制約されると尚更意識するものです。

新コロナが収まったわけではありませんが、こんな生活にも慣れてしまい、少しずつ日常に戻ってきたような気がします。子供達が毎日元気に登下校する姿を見てみると嬉しくなります。残りの半年、何とかこのまま終わらせたいものです。

パンジーからベコニアへ

季節は廻り、春先から今まで目を楽しませてくれたパンジーがお役交代。ピンクと白のベコニアに植替えられました。わが会員たちの心根のように、清楚なピンクと白の色あいが、実に綺麗です。これから株が大きく育ち美しく繁茂することでしょう。ざる菊も植えられ、秋が深まる頃、これまた美しく咲き誇ると思います。ジャガイモも順調に育ち、今年も又、子供達の笑顔に会えるのかと思うと、今から楽しみです。夏休み頃になるでしょうか。



ホタルブクロがいっぱい!!

集会場右のゴミ集積所の上の土手に、ホタルブクロが一面に！白の一重から八重のものや、うす紫、淡いピンクと色とりどり。宿根草なので毎年出てはいたのですが、花が咲く前に刈られていたのでしょうか。今年も草刈が終わり、すでに花は無くなっています。来年は、この一角だけ是非残しておいて欲しいものです。

町内の周りの土手が散髪したように、さっぱりときれいになりました。町内ソフトボールクラブ等の方々の草刈ボランティアだそうです。ありがたいことです。

若い力というのは素晴らしいですね。心優しい人達のことです。きっと願いが届き、来年も美しい花の群落がみられることでしょう。



最近、カラスが多いと思いませんか？家の近くや電柱の上。以前からいないわけではありませんが、最近とみに見かけます。どうしたのでしょうか。カラスの勝手でしょ！かな？

